

## 6 提案事業

提案事業については、ビジョンに掲げる10のアクションごとに整理しています。

〈凡例〉

提案事業の通し番号【提案事業が関連するビジョンのアクション名】		一応の目安としての実施時期
事業名	<b>(提案事業名)</b>	提案した委員名
ねらい	(提案事業のねらい)	
概要	(提案事業の概要)	
ステップアップさせるための工夫 (より多くの市民・事業者の方々に提案事業を実施していただくために考えた工夫 特に中期・長期事業については、「より早い段階で実施できるようにするための工夫」、「より大きな効果が得られるようにするための工夫」、「様々な方に実施してもらえるように考えた工夫」の3つに分けて記載しています。)		
コスト (提案事業実施の コスト)	課題 (提案事業実施にあたって解決 すべき課題)	実施にあたっての協議会委員からのコメント (短期事業については、実施にあたって、他の 協議会委員から寄せられたコメント)

### 01.北国基準の省エネルギー住宅の普及に向けた展開

No01-01【01.北国基準の省エネルギー住宅の普及に向けた展開】		短期事業
事業名	<b>生活廃熱利用システムの普及啓発(1)</b>	伊藤委員
ねらい	事業者からの積極的な情報提供による下水熱・換気排熱利用システムの普及	
概要	下水熱や換気排熱を利用するシステムについて、説明会や施工現場の見学会などを実施する。	
ステップアップさせるための工夫 ・会社や団体等で行う勉強会、研修会等のプログラムに、生活廃熱利用システムについての項目も加える。 ・伊藤委員が開催に携わる説明会や他者が主催する説明会の開催支援を行う。 (例)会社や団体等の広報媒体(ホームページや会報誌等)を用いて、説明会開催について周知、会場・労力等を提供する		
コスト ・説明会等の開催 費用	課題 ・説明会等の開催に係る費用確保 ・説明会参加者の確保	実施にあたっての協議会委員からのコメント ・ショーアップする見せ方を考える(千葉委員) ・初期投資費用や投資回収年数についての情報、メリット・デメリットについても取り上げる(宮森委員) ・開催案内について積極的に広報する(成田委員)

## No01-02 【01. 北国基準の省エネルギー住宅の普及に向けた展開】

短期事業

事業名	<b>「省エネ+ゼロエミッション」住宅に関する情報提供</b>		曲戸委員
ねらい	住宅の高度な断熱化や更新周期の延長策等の情報提供による省エネ住宅の普及		
概要	<p>広報さっぽろや札幌市のホームページ等に、住宅のより高度な断熱化や更新周期の延長策等によって、CO<sub>2</sub>削減や産業廃棄物削減につながるメカニズムを一般市民に周知する。</p> <p>ステップアップさせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会社や団体等の広報媒体に省エネ住宅関連記事を掲載する。</li> <li>・会社や団体等のホームページに関連記事が掲載されたホームページへのリンクを設ける。</li> </ul>		
コスト	課題	実施にあたっての協議会委員からのコメント	
・パンフレット類の作成費用	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設費の超過分と暖房費の低下分との大まかな見積りも示す(太田副会長)</li> </ul>	

## No01-03 【01. 北国基準の省エネルギー住宅の普及に向けた展開】

短期事業

事業名	<b>省エネルギー住宅の普及啓発(事業者向け)</b>		成田委員
ねらい	事業者が主体となった効果的な普及啓発の推進		
概要	<p>コミュニティ型建設業創出事業*のコンソーシアムに参加しているコーディネート事務局及び事業者に対し、住民への営業活動や住民から寄せられた相談に的確に対応できるように、省エネルギー住宅を普及させる上で必要な先進的な技術や支援制度について研修・研鑽を図る。</p> <p>ステップアップさせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会社や団体等で行う勉強会、研修会等のプログラムに、省エネルギー住宅に関する項目も加える。</li> <li>・他者が主催する省エネルギー住宅に関する説明会等の開催情報を一元的に提供し、それらへの事業者の参加を促す。</li> </ul>		
コスト	課題		
・省エネルギー住宅に関する情報提供にかかる経費	・情報提供に係る費用確保		

\*家屋の修繕やリフォームなど、住まいや暮らしに関する相談について、札幌市が選定したコーディネート事務局が市民の相談に応じ、その内容に適した企業の紹介を行う事業(札幌市経済局実施事業)。コーディネート事務局と企業グループとがコンソーシアムを形成している。

No01-04 【01. 北国基準の省エネルギー住宅の普及に向けた展開】		短期事業
事業名	<b>省エネルギー住宅の普及啓発(市民向け)</b>	成田委員
ねらい	事業者が主体となった効果的な普及啓発の推進	
概要	コミュニティ型建設業創出事業のコンソーシアムに参加しているコーディネート事務局及び事業者が、省エネルギー住宅を普及させる観点に立って先進的な技術や支援制度の情報に基づき、住民への営業活動や住民から寄せられた相談対応をする。	
ステップアップさせるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社や団体等の広報媒体を活用して、省エネルギー住宅に関する相談に応じる事業者を紹介する。</li> <li>・市民が省エネルギー住宅に関する知識を習得できるよう、市民向けの説明会等の情報提供を行い、参加を促す。</li> </ul>	
コスト	課題	
・周知・啓発に係る経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ型建設業創出事業のコンソーシアムに対する理解</li> <li>・市民啓発のための市広報手段の活用</li> <li>・啓発活動内容検討</li> <li>・啓発に係る費用確保</li> </ul>	

No01-05 【01. 北国基準の省エネルギー住宅の普及に向けた展開】		中期事業
事業名	<b>省エネルギー住宅等に関する情報提供</b>	山本委員
ねらい	事業者からのわかりやすく適切な情報提供による省エネ住宅の普及	
概要	①部位別(窓、壁、床等々)の工法(内窓取り付け、断熱材交換等々)、使用する資材の性能等および実績としての費用を情報提供する。	
ステップアップさせるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆より早い段階で実施できるようにするための工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の事業者が、パンフレットや説明会などで部位別の工法、使用する資材の性能および実績としての費用に関する情報提供を行う。</li> </ul> </li> <li>☆より大きな効果が得られるようにするための工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ改修工事を行った後の効果(例えば冬期間の光熱費が月〇円節約できたなど)も併せて情報提供する。</li> </ul> </li> </ul>	
※成田委員からの工夫回答	<p>「コミュニティ型建設業創出事業」と連携し、参加事業者(コンソーシアム)内で省エネルギー住宅の普及に係わっている企業が情報提供しているホームページから既存事業等へリンクできるように取り計らい、より幅広く市民が選択できるような機会を提供する。</p>	
☆様々な方々に実施してもらえようと思った工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ改修工事を行う際には、市の住宅エコリフォーム補助制度を活用できるなどの支援情報をホームページなどで発信する。</li> </ul>	
コスト	課題	
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報投稿企業の信憑性評価方法の確立</li> </ul>	

## No01-05【01. 北国基準の省エネルギー住宅の普及に向けた展開】

中期事業

事業名 **省エネルギー住宅等に関する情報提供**

山本委員

ねらい 事業者が主体となった効果的な普及啓発の推進

概要 ②ニーズに応じて市民が選択できる情報サイトを構築する。

ステップアップさせるための工夫

☆より早い段階で実施できるようにするための工夫

・まずは個々の事業者が、ホームページで情報提供を行う。

☆より大きな効果が得られるようにするための工夫

・ホームページではニーズごとに情報をまとめたページ構成にする。(例えば断熱性を高める工事で、どの部分(窓・床など)とするかによってページを分ける)

コスト

・ホームページの立ち上げ、更新作業に係る経費

課題

・情報サイト立ち上げ等に係る費用確保

## No01-06【01. 北国基準の省エネルギー住宅の普及に向けた展開】

中期事業

事業名 **生活廃熱利用システム導入への補助**

伊藤委員

ねらい 家庭における生活廃熱利用の拡大

概要 下水熱や換気排熱を利用する融雪用ロードヒーティングの導入費用の一部を補助する。

ステップアップさせるための工夫

☆より早い段階で実施できるようにするための工夫

・積雪期に市民や店舗経営者などを対象にした施工事例の見学会を行うなど、PRを行う。

・従来のロードヒーティング(電気加熱式、灯油燃焼式)と比較した燃費、CO<sub>2</sub>削減のデータも示して説明する。

☆より大きな効果が得られるようにするための工夫

・人の多い公共広場や歩道で、地下街の廃熱を利用したモデル的な融雪システム(実証試験)を行う。

☆様々な方々に実施してもらえようように考えた工夫

・提案事業No01-07「生活廃熱利用システムの普及啓発(2)」と連携して実施する。

コスト

・補助金

課題

・システムの効率性、汎用性、市場価格の調査・検討

・必要最低限の補助額検討

・補助予算確保

・補助による効果

No01-07【01. 北国基準の省エネルギー住宅の普及に向けた展開】		長期事業
事業名	<b>生活廃熱利用システムの普及啓発(2)</b>	伊藤委員
ねらい	公共施設での率先導入による効果検証・普及啓発	
概要	下水熱や換気排熱を利用するシステムを公共スペースに導入し、その効果を検証するとともに普及啓発を行う。	
ステップアップさせるための工夫	<p>☆より早い段階で実施できるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既に廃熱利用の融雪システムが導入されている施設・住宅における実績をもとに、ホームページや説明会等で情報提供するなど、普及啓発を行う。</li> </ul> <p>☆より大きな効果が得られるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設、大規模施設に導入普及させるため、地下街(地下鉄)の廃熱を利用し、広場や歩道の融雪に適用して大きなPR効果を狙う。</li> <li>今後、省エネ住宅の普及を図る「札幌版次世代住宅基準」の中に融雪システム等も追加できれば、個人住宅や集合住宅での廃熱利用が広がる。</li> </ul> <p>☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>提案事業No01-06「生活廃熱利用システム導入への補助」と連携し、効果検証のために試験導入する施設を募り、導入費用の一部を補助する。</li> </ul>	
コスト	課題	
・導入経費	・導入施設の選定 ・導入にかかる費用確保	

## 02.高効率給湯・暖房機器の普及に向けた展開

No02-01【02.高効率給湯・暖房機器の普及に向けた展開】		中期事業
事業名	<b>高効率機器等に関する情報提供(1)</b>	宮森委員
ねらい	実践事例の共有化による省エネ機器導入の喚起	
概要	ホームページを介する、市民からの機器設置に関する問い合わせに応じるとともに、市民同士の情報共有、ネットワーク化を図る。	
ステップアップさせるための工夫	<p>☆より早い段階で実施できるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機器を導入した市民から、導入後の実績や感想などを話してもらおうセミナー等を開催する。セミナーの開催内容の詳細をホームページで公開する。</li> </ul> <p>☆より大きな効果が得られるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機器を導入した人と、導入を検討している人とをマッチングさせた座談会形式の情報交換会を行う。</li> </ul>	
コスト	課題	
—	—	

## No02-02 【02.高効率給湯・暖房機器の普及に向けた展開】

長期事業

事業名	<b>高効率機器等に関する情報提供(2)</b>		宮森委員
ねらい	実践事例の共有化による省エネ機器導入の喚起		
概要	<p>札幌市の補助を受けて高効率機器等を設置した市民から、CO<sub>2</sub>削減状況や取組等のデータを提供してもらい、ホームページで公開する。市有施設の個々のデータも含め、区ごとに集計した数値も情報提供する。情報提供に協力した市民には、SAPICAなどにポイントを付与する。</p>		
ステップアップさせるための工夫	<p>☆より早い段階で実施できるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器を導入した市民から、導入後の実績や感想などを話してもらいセミナー等を開催する。セミナーの開催内容の詳細をホームページで公開する。</li> </ul> <p>☆より大きな効果が得られるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器を導入した人と、導入を検討している人とをマッチングさせた座談会形式の情報交換会を行う。高効率機器～灯油、ガス、電気～それぞれについて説明できる技術者も同席し、参加者からの疑問に答えられるようにする。開催内容の詳細をホームページで公開する。</li> <li>・札幌市等が提供する情報を活用して、より多くの市民に広める取組を検討する。</li> </ul>		
コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム開発、ホームページの立ち上げ、更新、情報収集作業に係る経費及び情報提供者への謝礼</li> </ul>	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供者の確保(長期間の情報提供・公表等)</li> <li>・CO<sub>2</sub>削減量等個人差のある情報の整理、公開のやり方</li> <li>・予算確保</li> </ul>

## No02-03 【02.高効率給湯・暖房機器の普及に向けた展開】

長期事業

事業名	<b>CO<sub>2</sub>削減コンテスト</b>		宮森委員
ねらい	実践事例の共有化による省エネ機器導入の喚起		
概要	CO <sub>2</sub> 削減率に応じ、エコ行動を実践した参加者に対して、SAPICAなどにポイントを付与する。		
ステップアップさせるための工夫	<p>☆より大きな効果が得られるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコ行動を実践した者にインセンティブを付与する点は、提案事業No04-08「エコライフポイント制度」、No04-09「エコアクションポイント(見える省エネ)」と似ていることから、それらとの合体を検討する。</li> <li>・CO<sub>2</sub>削減量について、ワットチェッカーなどの機器で測定したエネルギー消費量から計算できることを周知する。</li> </ul>		
コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテスト開催及びSAPICAポイントに係る経費</li> </ul>	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイント付与の基準となるCO<sub>2</sub>削減量や取組の線引き</li> <li>・予算確保</li> </ul>

## No02-04 【02.高効率給湯・暖房機器の普及に向けた展開】

長期事業

事業名	<b>高効率機器ラベリング事業</b>		宇野委員
ねらい	ラベリング等の省エネ製品の差別化による製品購入への誘導		
概要	家電量販店、中小電気店等と連携し、一定基準を満たした高効率機器に対して札幌市推奨マークを与えるなど、ラベリング事業を展開する。また、推奨パンフレットを作成・配布する。		
ステップアップさせるための工夫	☆より早い段階で実施できるようにするための工夫 ・既存の「省エネラベリング制度」等について情報提供を行う。		
コスト	・推奨マーク、パンフレット作成及び広報に係る経費	課題	・既存制度の有無に関する調査研究(すでに業界でラベリング事業を実施しているか) ・認証者は誰が適切か(市以外に道、国など) ・一定基準の定め方、判断方法 ・家電業界との連携

## 03.次世代自動車や公共交通機関等の利用拡大に向けた展開

## No03-01 【03.次世代自動車や公共交通機関等の利用拡大に向けた展開】

短期事業

事業名	<b>エコドライブ体験講習会</b>		照井委員
ねらい	営業用車両運転者に対するエコドライブの普及啓発		
概要	JAF等と共催で、タクシードライバーに対する「エコドライブ体験講習会」を実施する。		
ステップアップさせるための工夫	・会社や団体等で行う勉強会、研修会等のプログラムに、エコドライブの座学講習も加える。 ・会社や団体等の職員等関係者に対し、自動車教習所が実施するエコドライブ講習への参加を促す。		
コスト	・講習会開催にかかる経費	課題	・講習会開催後、エコドライブが定着しているかどうか、効果調査・検証

## No03-02 【03.次世代自動車や公共交通機関等の利用拡大に向けた展開】

短期事業

事業名 **公共交通機関のコストメリット周知**

照井委員

ねらい コスト面での優位性を明確にした公共交通利用への誘導

概要 自家用車を保有・使用せずに公共交通機関を利用することによるコストメリットを周知する。

ステップアップさせるための工夫

- ・パンフレット配布協力を行う。
- ・会社や団体等の広報媒体にコストメリットの記事を掲載する。
- ・会社や団体等のホームページに、関連記事が掲載されたホームページへのリンクを設ける。

コスト

・周知に係る経費

課題

- ・コスト以外のメリット・デメリットの評価方法
- ・効果的な周知方法
- ・周知方法に応じた経費確保

実施にあたっての協議会委員からのコメント

- ・各家庭で自家用車を保有しない場合の経済効果について、具体的に簡単に算出できる計算システムをインターネットで公開する(太田副会長)

## No03-03 【03.次世代自動車や公共交通機関等の利用拡大に向けた展開】

短期事業

事業名 **サイクルシェアリング「ポロクル」の利用促進**

北委員

ねらい 自転車の共同利用推進による自動車利用の抑制と自転車マナーの向上

概要

複数の人で自転車を共同利用するサイクルシェアリングを行う。  
2010年からサイクルシェアリングの実証実験を行い、2011年から「札幌みんなのサイクル ポロクル」として、(株)ドーコンモビリティデザインが会員制サイクルシェアリング事業を実施している。

ステップアップさせるための工夫

- ・既存のサイクルシェアリング事業「ポロクル」の周知に協力し、自転車の共同利用を促す。  
周知については、ターゲットによって広報の仕方を変える。  
(例) 地方から札幌に引っ越した人をターゲットに、札幌の魅力と地元の人が通う店をまとめたパンフレットに、ポロクルの宣伝記事を記載し、不動産屋等にて配布する。
- ・会社や団体における短距離移動用に「ポロクル」の利用を検討する。

コスト

・普及啓発実施に係る経費

課題

- ・普及啓発を行う人材確保
- ・活動経費の確保
- ・ターゲット別のアプローチの仕方

No03-04 【03.次世代自動車や公共交通機関等の利用拡大に向けた展開】		中期事業
事業名	<b>低公害な車両の試乗会</b>	太田委員
ねらい	低公害な自動車の導入促進	
概要	LPG車のタクシーを市民に試乗(試運転)してもらい、LPG車や天然ガス自動車など低公害な車の良さを理解してもらう。	
ステップアップさせるための工夫	☆より大きな効果が得られるようにするための工夫	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天然ガス車や燃料電池車なども加えて、展示、さらに可能ならば試乗会を行う。</li> <li>・市民向けのエコドライブ体験講習会を実施し、車両に低公害車を使用する。または講習会と併せて低公害車の試乗会も実施する。</li> </ul>	
コスト	課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料代</li> <li>・会場使用料など試乗会開催にかかる経費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシー業界からの協力・連携</li> <li>・車両の確保(実際に運行している車両を使用するかどうか)</li> <li>・会場の確保(市民の安全を考慮)</li> </ul>	

No03-05 【03.次世代自動車や公共交通機関等の利用拡大に向けた展開】		中期事業
事業名	<b>ウィズユーカードによる公共交通利用促進</b>	横江委員
ねらい	会議謝礼のウィズユーカード化による公共交通利用への誘導	
概要	会議謝礼などとして、ウィズユーカードを支給する。	
ステップアップさせるための工夫	☆より早い段階で実施できるようにするための工夫	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規事業における交通費はウィズユーカードやSAPICAで支払う。既存の事業における交通費は、本人の了解・承諾を得て実行する。</li> </ul>	
	☆より大きな効果が得られるようにするための工夫	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文化・創造都市、環境・福祉都市さっぽろ」を大いに意識できる工夫をする。具体的には住みたいまちNo1に相応しいプライドが持てるような企画(例えば意識改革のアイデアや促進奨励事業などの公募やタイアップ)を継続的・連続的・統一的に実施する。</li> <li>・個人・地域・企業・区・市などとして何ができるかを常に意識する。</li> <li>・謝礼等とともに公共交通機関を利用することのメリット(例えば、豊かな自然環境の中で心豊かに暮らせる、歩くことで体も頭も健康的になるなど)を感じてもらいながら、楽しく実行できるように意識を高めていく。</li> <li>・提案事業No04-08「エコライフポイント制度」やNo04-09「エコアクションポイント(見える省エネ)」と連携して実施する。</li> </ul>	
	☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業や商店街、各種市民団体やNPO等にも趣旨を理解してもらい、全市的にキャンペーンを展開しながら浸透させていく。</li> <li>・会議謝礼以外にも、ウィズユーカードやSAPICAの交付に替えることができるものを検討する。(例)講演会の講師謝礼、イベント等の景品</li> </ul>	
コスト	課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・謝礼に係る経費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・謝礼に係る規則等との整合性</li> </ul>	

01

## No03-06 【03.次世代自動車や公共交通機関等の利用拡大に向けた展開】

中期事業

事業名 **公共交通利用促進に向けた仕組みづくり**

成田委員

02

ねらい 市民・事業者への啓発活動による公共交通利用への誘導

概要 市民・事業者に対し、公共交通機関の利用を促す啓発活動を行う。

03

ステップアップさせるための工夫

☆より早い段階で実施できるようにするための工夫

- 公共交通利用を促進するための効果的な手法として、まちづくりNPO等と協力して、モビリティ・マネジメント\*の考え方を理解してもらう市民セミナー・研修会等を開催する。

☆より大きな効果が得られるようにするための工夫

- モビリティ・マネジメントを市民へより大きく啓発普及を図るため、フェースツーフェースでの継続的な市民参加の研修活動等を順次実施する。

☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫

- 公共交通事業者や一般市民にも参加してもらうため、左記の取組みの経過や成果を積極的にパブリシティーする。

04

コスト

- 啓発活動に係る経費

課題

- 効果的な啓発活動内容の検討
- 経費確保

05

## No03-07 【03.次世代自動車や公共交通機関等の利用拡大に向けた展開】

中期事業

事業名 **コミュニティ・カーシェアリング事業**

成田委員

06

ねらい 地域での利用機会が少ない自家用車の減車と次世代型自動車の共同利用による環境負荷の低減

概要 高齢者が多い既存マンション等を対象に自家用車の利用実態と車の共同利用に関するニーズ調査を行い、その結果から運営モデル案を作成。実施するモデルマンション・地域を選定して、その事業成立性を実験・検証した後、事業化を図る。

07

ステップアップさせるための工夫

☆より早い段階で実施できるようにするための工夫

- 当協議会関係者のネットワークで、調査協力してもらえ既存マンション・地域を選定し、まちづくりNPO等の協力により「なにをする」欄に記載した実態・ニーズ調査を実施して事業運営企画案を作成することが必要である。そのための機会・体制を構築することが先決と考えられる。

☆より大きな効果が得られるようにするための工夫

- 当事業の結果としての自家用車の減車と共同利用への転換は、公共交通利用促進と環境対策としての成果は共通している。従って、公共交通利用促進に向けたモビリティ・マネジメントでの市民セミナー・研修会等での一体的な情報提供と取組みが効果的と考えられる。

また、利用自動車を環境負荷の少ない先進技術の車両とすることで、環境へのより高い効果を発揮できるように努める。

☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫

- 事業運営企画案が作成できれば、それを元に運営側への参画には自動車関連の事業者やまちづくりNPO、利用側の参加では既存マンション・地域等の公募、または個別アプローチによっても募ることが可能となる。事業母体の設立、幅広く市民が参加できる資金調達方法が鍵となる。まずはそのための実態・事業採算性等の調査の実施が求められる。

08

09

コスト

- 実態、ニーズ調査の実施に係る経費など

課題

-

10

No03-08 【03.次世代自動車や公共交通機関等の利用拡大に向けた展開】		長期事業
事業名	<b>電気自動車等の導入促進</b>	照井委員
ねらい	次世代自動車の導入促進	
概要	①エネルギーを効率的に活用できる等使用しやすい車両を開発する。	
ステップアップさせるための工夫	☆より早い段階で実施できるようにするための工夫	
	・市民・事業者もメーカーへの要請を行う。	
コスト	課題	
・開発にかかる経費	・開発にかかる時間・経費の確保	
概要	②次世代自動車の導入費用の一部補助。車両価格の低廉化や新車開発に向けたメーカーへの働きかけ・支援を行う。	
ステップアップさせるための工夫	☆より早い段階で実施できるようにするための工夫	
	・EV(電気自動車)普及のため、充電箇所を大幅に増設する。	
	☆より大きな効果が得られるようにするための工夫	
	・車両価格が高いため、メーカーへの支援を含めて、普及促進のための思い切った助成制度の拡充を行う。	
	・節電や普及促進のために、駆動輪(タイヤ)の走行パワーを活用して充電できるような装置の開発が必要と思われるため、開発が進むよう働きかけを行う。	
コスト	課題	
・補助金	・補助金の確保	
・メーカーへの開発支援に係る経費	・市場調査等	
	・インフラ整備を進めるうえで、充電設備は法規制上自由に設置できない	

※市民の方々が「過度に自動車に頼る状態」から「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に(=かきこく)利用する状態」へと少しずつ変えていく取組

## No03-09 【03.次世代自動車や公共交通機関等の利用拡大に向けた展開】

長期事業

事業名 **蓄電池型の車両導入によるスマートコミュニティの促進**

成田委員

ねらい

- ・家庭・事業者への蓄電池型車両の導入促進
- ・スマートコミュニティ※1の推進

概要

蓄電池型の車両を沢山導入し、蓄電池から電力を賄ったり、太陽光発電などで電力を創出し、一定の範囲で電力を融通し合えるようにする。

ステップアップさせるための工夫

☆より早い段階で実施できるようにするための工夫

- ・モデル地区を公募し、技術開発中の企業の協力も得ながら、地区内の家庭・事業者が蓄電池型車両の導入や共同太陽光発電所の設置などを実施できるよう支援し、スマートコミュニティの社会実験へ繋げていく。

☆より大きな効果が得られるようにするための工夫

- ・上記の過程で地場企業の参画・育成も図りながら、モデル地区を順次全市に拡大展開していく。

☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫

- ・モデル地区での取組みをパブリシティーすると共に、市民・事業者見学会なども実施して普及に努める。

コスト

- ・車両購入経費(直流・交流変換等の問題が解決されていない期間は、変換機器等購入経費も)

課題

- ・スマートグリッド※2に係る問題(直流・交流変換等)

## No03-10 【03.次世代自動車や公共交通機関等の利用拡大に向けた展開】

長期事業

事業名 **公共交通機関の魅力づくり**

千葉委員

ねらい 公共交通機関の魅力の創出

概要

駅構内に入らないと見られない、バスに乗らないと体験できないようなイベントなどを実施する。

ステップアップさせるための工夫

☆より早い段階で実施できるようにするための工夫

- ・地下鉄車内や駅構内以外にも、車を使う人の多いスーパーなどの場所などで、イベント等の告知を行う。(駅であれば構内のお店とも連携する。)

☆より大きな効果が得られるようにするための工夫

- ・提案事業No03-11「公共交通利用促進に向けた仕組みとあり方検討プロジェクト」の中で、公共交通機関を利用しない人が魅力を感じるイベントを実際にアンケート等で把握し、イベント内容の企画の際に活用する。

コスト

- ・イベント開催に係る経費

課題

- ・交通局との調整
- ・経費確保
- ・魅力のあるイベント内容構想(予算範囲内での)

## No03-11 【03.次世代自動車や公共交通機関等の利用拡大に向けた展開】

長期事業

事業名 **公共交通利用促進に向けた仕組みとあり方検討プロジェクト**

成田委員

ねらい 公共交通体系(インフラ)と仕組み(ソフト)づくりの調査研究による公共交通利用の促進

概要 将来の公共交通体系と利用しやすい仕組みづくりについて調査研究を行う。

ステップアップさせるための工夫

☆より早い段階で実施できるようにするための工夫

- ・まちづくりNPO等の協力のもとで、公共交通利用促進に向けたインフラ・ソフト改善のための市民主導の検討委員会を立ち上げ、標記の公共交通のあり方について調査研究を行なう。目標は50年後とし、その第1段階を新幹線開通前の20年後とする。

☆より大きな効果が得られるようにするための工夫

- ・上記の調査研究に基づく長期的な改善案・方策について、市民セミナー・研修会等での発表・公開討論会等を通じて、将来の公共交通のあり方をとりまとめ、総合交通・まちづくり政策への反映を図る。

☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫

- ・必要に応じ、公共交通事業者や政策担当者にも委員会等への参加を図る(ただし、委員会等はあくまで市民主導とすることが重要)。

コスト

- ・調査に係る経費

課題

- ・調査研究内容の検討
- ・市民まちづくり局との調整
- ・経費確保

※1 街全体の電力の有効利用や再生可能エネルギーの活用などを、都市の交通システムや住民のライフスタイル変革まで、複合的に組み合わせた社会システム

※2 電力の流れを供給側・需要側の両方から制御し、最適化できる送電網

01

## No03-12 【03.次世代自動車や公共交通機関等の利用拡大に向けた展開】

長期事業

事業名 **新千歳空港から恵庭～大曲～清田～福住への交通(地下鉄へ)**

横江委員

02

ねらい 大規模駐車場を活用した公共交通利用の促進

03

概要 大曲等に大駐車場を整備して、新千歳空港から札幌都心部へ向かう人は、大駐車場に自動車を駐車し、JRや地下鉄等の公共交通機関を利用するといったルールを構築する。

04

ステップアップさせるための工夫

☆より早い段階で実施できるようにするための工夫

1 福住からの地下鉄延伸着工

2 北広島市との協議

3 さっぽろ環状線(新たな地域間交通で、清田区～厚別区～白石区～東区～北区～西区などを結ぶ交通体系をイメージ)の整備

☆より大きな効果が得られるようにするための工夫

・新千歳空港から札幌(福住)への交通を確立する。アジアのリゾート地ニセコを中心に新幹線とは別にリニアモーターカーを運行する。

・提案事業No03-02「公共交通機関のコストメリット周知」と連携し、これからのあるべき姿を描けるような豊かなエコライフを提唱しながら環境に対する価値観を共有していく。

☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫

・福住から大曲へ地下鉄延伸、新千歳から福住へリニアモーターカー、そして環状線を実現するために未来図を描き、皆に協力・実行してもらう。

05

コスト

・駐車場整備経費(場合によっては、大駐車場と空港間のアクセス方法の用意に係る経費)

課題

・複数自治体間での連携 ・駐車場スペース、整備経費確保  
・規制的手法でない、大駐車場の利用が促されない可能性  
・札幌市から大曲の大駐車場まで来た市民に対する、空港までのアクセス方法用意

06

## No03-13 【03.次世代自動車や公共交通機関等の利用拡大に向けた展開】

長期事業

事業名 **歩きたくなる道の整備**

横江委員

07

ねらい 歩行道路の魅力アップによる自動車利用の抑制

08

概要 魅力的な、歩行者専用道路を整備する。

09

ステップアップさせるための工夫

☆より早い段階で実施できるようにするための工夫

・新しい道作り「歩きたくなる道」10選を公募し、それぞれの企画推進チームで実現に向けて活動する。

☆より大きな効果が得られるようにするための工夫

・それぞれの地域で「道」を活用し、札幌に住んでいて良かったと思える最高の環境づくりと健康生活の支援を行う。

(例)厚別川から白幡山への道を整備し、マラソン大会・歩く会など、身近な自然を体験できるようなイベントを実施する。

☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫

・自動車利用抑制とともに大きな動機付けとなるような事柄(例えば健康増進)と組み合わせて、歩行道路を利用してもらうよう広く情報発信する。

10

コスト

・道路整備経費

課題

・道路整備予算及び場所確保 ・道のコンセプト等検討  
・自動車使用抑制効果が期待できるか

## 04.エコライフの定着・拡大に向けた展開

No04-01 【04.エコライフの定着・拡大に向けた展開】		短期事業
事業名	<b>エコライフの啓発</b>	伊藤委員
ねらい	表彰制度を活用したエコライフの実践拡大と普及啓発	
概要	エコライフ啓発ポスターデザインを募集し、入選作に対してはイベント等に合わせて表彰を行う。小中学生の部、20～30代の部、年金生活者の部など、部門をいくつか設けるなど工夫する。	
ステップアップさせるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>会社や団体等のポスターに、エコライフ啓発をテーマとしたデザインを募集・採用する。募集にあたっては、募集規模を所属団体内及びその家族とするなど、必要経費を抑えるような工夫をする。</li> <li>他者が作成したエコライフ啓発ポスターの配布・掲示協力を行う。</li> </ul>	
コスト	課題	実施にあたっての協議会委員からのコメント
<ul style="list-style-type: none"> <li>広報、募集、表彰式開催・ポスター作成及び配布等に係る経費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者の確保</li> <li>既存事業と組み合わせた企画・実施を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街、大型スーパーなどと協力して目に触れる場所を沢山作る(千葉委員)</li> <li>優秀作品をウィズユーカードの図柄に採用する(宮森委員)</li> </ul>

No04-02 【04.エコライフの定着・拡大に向けた展開】		短期事業
事業名	<b>「サッポロエコの日」の制定</b>	宇野委員
ねらい	「サッポロエコの日」の制定・活用によるエコライフ実践の普及・定着	
概要	毎月特定日を「サッポロエコの日」に制定し、エコ関連イベント等の開催により、市民にエコライフの実践を呼びかける。	
ステップアップさせるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>「環境の日」等の既存の環境関連日を会社や団体等における「エコの日」とする。</li> <li>「エコの日」に実施する環境関連事業について、新規事業を立ち上げることができなければ、既存の環境関連(環境配慮)イベントを集約する。</li> </ul>	
コスト	課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント等開催に係る経費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他にある環境関連の日(環境の日、環境首都・札幌宣言日など)と別に新たな制定の必要性について検討(既存の環境関連の日との連携の模索)</li> <li>市民の理解と賛同を得る方策</li> </ul>	

01

## No04-03【04.エコライフの定着・拡大に向けた展開】

短期事業

事業名	<b>環境教育表彰制度</b>		宇野委員
ねらい	小中学校における環境・エネルギー教育の推進		
概要	積極的に環境・エネルギー教育に取り組んだ学校を表彰する。		
ステップアップさせるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に実施している市の事業「さっぽろこども環境コンテスト」に対し、寄付や協賛を行うなど、既存制度の実施協力を行う。</li> </ul>		
コスト	課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・応募、選考、表彰等に係る経費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インセンティブとしての表彰が適切か</li> <li>・表彰基準</li> <li>・通常のカリキュラムと環境教育とのバランス</li> <li>・教育委員会・学校との連携</li> <li>・既存事業の活用検討(さっぽろこども環境コンテスト)</li> </ul>		

02

03

04

## No04-04【04.エコライフの定着・拡大に向けた展開】

短期事業

事業名	<b>エネルギー関連の学習会</b>		佐藤委員
ねらい	学習会や講習会、ゲームを活用したエコライフの普及啓発の推進		
概要	エネルギー問題等に関する学習会を開催する。ひまわりの種の会で開発された環境教育ゲーム「ガバチョ！我が国の選択」を実践する。		
ステップアップさせるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者との合同での学習会の企画開催、開催支援を行う。 (例) 会社や団体等の広報媒体を用いて、説明会開催について周知、会場・労力等を提供する、講師をお願いする専門家の方や関連団体の活動の広報</li> </ul>		
コスト	課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催に係る経費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者の確保</li> </ul>		

05

06

07

## No04-05【04.エコライフの定着・拡大に向けた展開】

短期事業

事業名	<b>「環境プラザ」サポーター登録制度</b>		宮森委員
ねらい	サポーター登録制度による、若い世代間への環境教育・普及啓発		
概要	環境の取組に熱心な高校や大学に協力を依頼し、高校生や大学生に環境プラザのサポーター制度登録を募る。登録した学生には、メールなどで環境プラザの事業に関する情報提供やボランティアでの参加協力を呼びかける。		
ステップアップさせるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社や団体等の広報媒体を用いてサポーター制度について周知し、学生に登録を呼びかける。</li> <li>・会社のCSR活動について、情報交換できるような研修会を企画する。</li> </ul>		
コスト	課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報、募集、ポスター作成及び配布等に係る経費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーター制度に登録し、ボランティアなどで協力してくれる学生の確保</li> </ul>	実施にあたっての協議会委員からのコメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな制度立ち上げもよいと思うが、環境に関心の高いサークルなどに声をかけ、協力を仰ぐ(単位科目に組み込まない)(千葉委員)</li> </ul>	

08

09

10

## No04-06 【04.エコライフの定着・拡大に向けた展開】

短期事業

事業名	<b>地球温暖化防止をテーマとしたプログラムの利用促進</b>	山本委員
ねらい	ゲーム形式の学習プログラムを活用して、子どもや親子への環境教育の実施、担い手の波及	
概要	子どもや親子が、地球温暖化について楽しみながら学べるように企画した学習プログラムを自ら担い手となって実施する。	
ステップアップさせるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲーム資材や進行レクチャー、適したプログラムのアドバイス等、実施に係るフォロー体制は北海道環境財団の通常業務内で実施することが出来るため、利用可能性のある市民に情報を効果的に伝達することで、ある程度の波及が見込まれる。</li> <li>・様々な主体に対して、活用機会の広いプログラムであること、十分なフォローアップ体制が確立していることを効果的にPRする。(様々な場所で活用でき、また進行は誰でも可能)</li> <li>・札幌市が持つ広報手段の効果的な活用、各部局経由によるPRなどを行っていただくことで、様々な主体に対して「信頼感のある情報」として伝達されるだけでなく、活用の意欲を刺激するものとする。(例えば児童福祉関係部署→児童会、教育部局→PTA・小学校など)</li> </ul>	
コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期:様々な主体へのPR・利用促進に資する各種活動(短期的には人件費は不要。北海道環境財団が行う環境学習事業として実施可能)</li> <li>・中期・長期:人件費</li> </ul>	課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な主体に対して効果的なPRの実施</li> </ul>

## No04-07 【04.エコライフの定着・拡大に向けた展開】

短期事業

事業名	<b>寄付による環境保全活動推進</b>	虎谷委員
ねらい	寄付による環境保全活動の推進	
概要	基金を設立し、環境保全・環境教育、環境研究機関等に寄付する。 北海道CGCでは、加盟企業における有料レジ袋販売代金を集約して「北海道CGCみどりところの基金」を設立し、環境保全・環境教育、環境研究機関等に寄付を行っている。	
ステップアップさせるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社や団体等の広報媒体にて寄付事業を紹介する。</li> <li>・会社や団体等のホームページにリンクを設ける。</li> <li>・基金を活用してさらなる成果を期待するような環境関連事業を検討・実施する。</li> </ul>	
コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付金</li> <li>・事務等にかかる経費</li> </ul>	課題 -

## No04-08 【04.エコライフの定着・拡大に向けた展開】

中期事業

事業名 **エコライフポイント制度**

宇野委員

ねらい エコライフポイントを活用したエコライフ実践への誘導

概要 札幌版次世代住宅基準を満たした住宅購入者などの一定基準を満たすエコ行動を実践した市民に対し、エコライフポイントを付与する。

ステップアップさせるための工夫

☆より早い段階で実施できるようにするための工夫

・エコライフ実践への誘導として、市などが実施している既存の制度を活用するよう呼びかける。

☆より大きな効果が得られるようにするための工夫

・新規で「エコライフポイント」を立ち上げるのではなく、既存の地域ポイント「まちのわ」やエコライフの実践をさらに誘導するもの(ウィズユーカード、SAPICAカードなど)にする。

☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫

・市などが実施している既存の制度をまとめ、分かりやすいような資料・ホームページ等を作成し、関係者へ情報提供する。

コスト

・エコライフポイント制度の立ち上げ、運用及び市民に対する付与に係る経費

課題

- ・効果のあるエコライフポイント付与数
- ・既存制度活用の可能性検討
- ・エコライフポイントに係る費用確保
- ・エコライフポイントの価値を高める(多くの施設での使用を可能とする環境整備)

## No04-09 【04.エコライフの定着・拡大に向けた展開】

中期事業

事業名 **エコアクションポイント(見える省エネ)**

山本委員

ねらい 社会貢献型(の視点も取り入れた)インセンティブ制度の構築によるエコライフ実践への誘導

概要 環境低負荷型行動をした市民、事業者に対し、エコアクションポイントを付与し、広く情報提供を行う。

ステップアップさせるための工夫

☆より早い段階で実施できるようにするための工夫

・エコライフ実践への誘導として、市などが実施している既存の制度を活用するよう呼びかける。

☆より大きな効果が得られるようにするための工夫

・新規で「エコライフポイント」を立ち上げるのではなく、既存の地域ポイント「まちのわ」やエコライフの実践をさらに誘導するもの(ウィズユーカード、SAPICAカードなど)にする。

☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫

・市などが実施している既存の制度をまとめ、分かりやすいような資料・ホームページ等を作成し、関係者へ情報提供する。

コスト

・エコアクションポイント制度の立ち上げ、運用、市民等への付与に係る経費

課題

- ・社会に貢献する環境行動の基準作り
- ・インセンティブに係る費用確保
- ・ポイントが社会貢献に寄与するような仕組みの構築

No04-10【04.エコライフの定着・拡大に向けた展開】		中期事業
事業名	CO <sub>2</sub> 削減の見える化等による町内会でのエコライフ推進	成田委員
ねらい	町内会が主体となったエコライフ実践の拡大	
概要	CO <sub>2</sub> 削減効果を評価できる機器等を使って見える化を行い、町内会で温暖化対策に取り組んでもらう。	
ステップアップさせるための工夫		
☆より早い段階で実施できるようにするための工夫		
・地区会館・まちづくりセンター・地区センターのような町内会・連合町内会等が深く係わっているコミュニティー施設へ、ワットチェッカー等の貸し出しを促進する。		
☆より大きな効果が得られるようにするための工夫		
・エコNPO等の協力を得て、出前講座を巡回化するなど拡充強化し、町内会関係者等が取組めることの理解を促進する。		
☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫		
・町内会等での取組みを各集会や回覧板などで町内・市民に周知を図り、更に進んで「身近な地域で可能な小規模なソーラー発電事業」=「コミュニティ・ソーラー発電事業」などへの展開を図る。		
コスト	課題	
・見える化事業に伴う経費	・まちづくりセンターや町内会からの理解、協力 ・町内会単位でエコライフを推進するための事業内容詳細の検討	

No04-11【04.エコライフの定着・拡大に向けた展開】		長期事業
事業名	町内会におけるエコ活動の推進	宇野委員
ねらい	町内会が主体となったエコ活動の推進	
概要	①町内会でエコ行動を推進する。年次総会等で、エコ推進を確認し、意識醸成を図る。町内会でエコ推進員(仮称)を推薦し、エコ推進員を中心として、高効率機器等関連事業者によるセミナーの開催などエコ推進のための取組立案・実行、市の各種エコ関連補助制度について周知、エコライフやごみ減量・リサイクルに関する啓蒙活動などを行う。	
ステップアップさせるための工夫		
☆より早い段階で実施できるようにするための工夫		
・町内会のうち、“環境部”などの環境関連部門が設けられているところがあれば、そこから環境に関する情報を回覧板で回して共有する。		
・市の「出前講座」を利用して、町内会でエコ行動を推進するための研修会を実施する。		
☆より大きな効果が得られるようにするための工夫		
・市の既存事業を活用し、町内会館等の集会施設に新エネルギー・省エネルギー機器を設置する。		
・提案事業No04-10「CO <sub>2</sub> 削減の見える化等による町内会でのエコライフ推進」と連携し、日々の行動から温暖化対策を意識させる。		
☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫		
・市の既存事業を活用した、団体としての新エネルギー・省エネルギー機器導入等を検討・実施する。		
コスト	課題	
・町内会での取組実施に係る経費	・町内会の協力を得る ・取り組みやすいような仕組み構築 ・町内会の組織力向上(若い年代層を巻き込ませる)	

## No04-11【04.エコライフの定着・拡大に向けた展開】

長期事業

事業名	<b>町内会におけるエコ活動の推進</b>	宇野委員
概要	②積極的にエコ活動を推進している町内会を表彰し、広く公表する。エコ推進員の登録制度を運用し、推進員同士の情報交換の場を提供する。	
ステップアップさせるための工夫	<p>☆より早い段階で実施できるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市などが実施している既存の表彰制度を周知し、エコ活動の一つのきっかけにするよう働きかける。</li> </ul> <p>☆より大きな効果が得られるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市などが実施している既存の表彰制度を周知し、エコ活動の一つのきっかけにするよう働きかける。</li> </ul> <p>☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市などが実施している既存の表彰制度を周知し、友達などの小さなグループや企業などの団体内におけるエコ活動の一つのきっかけにするよう働きかける。</li> </ul>	
コスト	課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコ推進員制度の立ち上げ、認証、町内会への働きかけに係る経費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の協力を得る</li> <li>・取り組みやすいような仕組み構築</li> <li>・町内会の組織力向上(若い年代層を巻き込ませる)</li> </ul>	

## No04-12【04.エコライフの定着・拡大に向けた展開】

長期事業

事業名	<b>目に見えるインセンティブ</b>	千葉委員
ねらい	インセンティブを使ったエコライフ実践への誘導	
概要	目に見えるインセンティブを与える。マンションごとに目標を設置し、達成すると共用電力料金を1年輕減する。	
ステップアップさせるための工夫	<p>☆より早い段階で実施できるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションの全住人に対し、既存の制度(さっぽろ節電大キャンペーン)への参加を呼び掛ける。その一環として今回のLED購入キャンペーンのような何らかのインセンティブキャンペーンを実施する。</li> </ul> <p>☆より大きな効果が得られるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション内に共用スペースがある場合は、共用スペースを積極的に活用してもらうことで、個々の家庭での電力使用を抑える取組を行う。</li> </ul>	
コスト	課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インセンティブに係る経費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インセンティブのかけ方</li> </ul>	

## No04-13 【04.エコライフの定着・拡大に向けた展開】

長期事業

事業名	<b>省エネ見える化事業</b>		大内委員
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見える化(可視化)の普及によるエコライフの推進</li> <li>・学校でのモニターを利用したエコライフ実践の拡大</li> <li>・中小事業所でのエコライフ実践の拡大</li> </ul>		
概要	①使用電力量が一目で分かるように表示されるモニター等を開発する。		
ステップアップさせるための工夫	☆より早い段階で実施できるようにするための工夫 ・市民・事業者もメーカーへの要請を行う。 ☆より大きな効果が得られるようにするための工夫 ・より安価なデマンド監視機能モニターの開発をメーカーに要望する。		
コスト	課題		
・モニター開発に係る経費	・モニター開発に係る経費、時間確保		
概要	②学校にモニターを設置し、省エネ行動を実践、授業を実施する。		
ステップアップさせるための工夫	☆より早い段階で実施できるようにするための工夫 ・学校に限らず、モニターが設置されている施設で省エネ行動に関する研修等を行う。		
コスト	課題		
・モニター設置に係る経費	・モニター設置経費の確保 ・授業時間の確保		
概要	③中小事業所がモニターを設置し、省エネ行動を実践する。		
ステップアップさせるための工夫	☆より大きな効果が得られるようにするための工夫 ・より安価なデマンド監視機能モニターが開発されれば、その設置を促してエネルギーの使用状況等の把握、見える化を進める。そしてエネルギーに関する意識の向上を図る。 ☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫 ・市などが実施する支援制度を活用し、省エネ行動の実施を促す。		
コスト	課題		
・モニター設置に係る経費	・モニター設置経費の確保		
概要	④モニター設置を促し、設置事業者に対する省エネ診断を行う。		
ステップアップさせるための工夫	☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫 ・市などが実施する支援制度を活用し、省エネ行動の実施を促す。		
コスト	課題		
・省エネ診断に係る経費(モニター設置に対する補助等あれば補助金)	・設置事業者の確保		

## 05.事業活動によるCO<sub>2</sub>削減に向けた展開

### No05-01【05.事業活動によるCO<sub>2</sub>削減に向けた展開】

短期事業

事業名	<b>環境保全活動に対する支援の情報提供</b>		伊藤委員
ねらい	補助等支援に関する情報提供による環境保全活動の推進		
概要	事業者が行う環境保全活動に対する補助制度など、活用できる支援メニュー、利用状況を整理し、情報提供を行う。		
ステップアップさせるための工夫	・会社や団体等のホームページに、情報が掲載されているページへのリンクを設ける。		
コスト	課題		
・情報収集、提供に係る経費	—		

### No05-02【05.事業活動によるCO<sub>2</sub>削減に向けた展開】

短期事業

事業名	<b>事業活動の支援(ハード面)</b>		伊藤委員
ねらい	ハード、ソフト両面での支援の強化		
概要	低燃費車や木質ペレットボイラー等の導入に係る費用の一部について補助を行う。		
ステップアップさせるための工夫	・会社や団体等の広報媒体にて補助制度を紹介する。		
コスト	課題		
・補助金	・新たに補助制度を立ち上げる場合はメニューが適格か判断、予算確保		

### No05-03【05.事業活動によるCO<sub>2</sub>削減に向けた展開】

短期事業

事業名	<b>事業活動の支援(ソフト面)</b>		伊藤委員
ねらい	ハード、ソフト両面での支援の強化		
概要	エネルギー管理士(国)や中小企業アドバイザー(市)等の派遣をあっせんし、省エネ診断・助言を行う。		
ステップアップさせるための工夫	・会社や団体等の広報媒体にてソフト的な支援制度を紹介する。		
コスト	課題		
・アドバイザー派遣に係る経費	・受けられるサービスについて、内容・問い合わせ窓口等を周知(情報の集約)		

No05-04 【05.事業活動によるCO<sub>2</sub>削減に向けた展開】

中期事業

事業名	<b>事業者のCO<sub>2</sub>削減の見える化等による促進</b>		成田委員
ねらい	見える化やインセンティブ制度を活用した取組の誘導		
概要	事業活動におけるCO <sub>2</sub> 削減効果を自ら評価できる見える化を行い、実行を促す。CO <sub>2</sub> 削減効果に応じて、グリーン事業者として認証する。		
ステップアップさせるための工夫	<p>☆より早い段階で実施できるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者の電力使用状況を見える化できる機器を貸し出したり、中小事業者に負担の少ない方法での促進を図る。</li> </ul> <p>☆より大きな効果が得られるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中小事業者にインセンティブとなる顕彰・企業名公表制度(グリーン事業者認定)等を設けることにより、モチベーションを高める。</li> </ul>		
コスト	課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>見える化事業に伴う経費</li> <li>事業者認証に係る経費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存事業でのインセンティブ付加が可能か(新規の場合はメニュー検討)</li> </ul>		

## 06.太陽光発電設備の導入拡大に向けた展開

## No06-01 【06.太陽光発電設備の導入拡大に向けた展開】

短期事業

事業名	<b>太陽光発電設置に係るセミナー</b>		佐藤委員
ねらい	セミナーの開催による普及啓発		
概要	太陽光発電設置に関する情報を提供するセミナーを開催する。		
ステップアップさせるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>会社や団体で行う勉強会、研修会等のプログラムに、太陽光発電についての説明も加える。</li> <li>他者が主催するセミナーへの参加を促す。</li> </ul>		
コスト	課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー開催に係る経費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講者の確保</li> </ul>		

## No06-02 【06.太陽光発電設備の導入拡大に向けた展開】

短期事業

事業名	<b>太陽光発電に関する情報提供</b>		成田委員
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい情報提供による理解の促進</li> <li>・公共施設での率先導入による普及啓発</li> </ul>		
概要	太陽光発電について、正しい情報をより多く提供する。(発電効率、融雪対策など)		
ステップアップさせるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社や団体等の広報媒体に記事を掲載する。</li> <li>・会社や団体等のホームページに、関連記事が掲載されたホームページへのリンクを設ける。</li> </ul>		
コスト ・情報提供に係る経費	課題 ・様々な媒体への情報提供依頼 ・情報提供すべき内容の精査	実施にあたっての協議会委員からのコメント ・これまでの設置事例の状況(稼働率、発電実績、経費など)をまとめ、情報提供する(太田副会長)	

## No06-03 【06.太陽光発電設備の導入拡大に向けた展開】

長期事業

事業名	<b>公共施設への率先導入</b>		成田委員
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい情報提供による理解の促進</li> <li>・公共施設での率先導入による普及啓発</li> </ul>		
概要	太陽光発電を公共施設へ率先して導入する。		
ステップアップさせるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆より早い段階で実施できるようにするための工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全市的な太陽光発電の導入を促すよう、既存の制度(札幌・サンサンプロジェクト)などの内容をさらに周知する。</li> </ul> </li> <li>☆より大きな効果が得られるようにするための工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域で公共施設への導入による見える化が進むので、小・中学校や高校の親、市民に視察してもらい、より普及を後押ししてもらおう。</li> </ul> </li> <li>☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設への導入により理解を深めた市民が、自宅・事業所等の、身近で利用可能な場所への太陽光発電の導入が進むような持続的な支援制度(=コミュニティ・ソーラー発電事業)により普及拡大を図る。</li> </ul> </li> </ul>		
コスト ・導入経費	課題 ・どの施設に導入するか ・導入にかかる経費確保		

## No06-04 【06.太陽光発電設備の導入拡大に向けた展開】

長期事業

事業名	<b>コミュニティ・ソーラー発電事業</b>		佐藤委員
ねらい	連合町内会レベルのエリアでの太陽光発電設備の導入促進		
概要	コミュニティ・ソーラー事業に関心のある、市民、事業者を対象に資金調達を行う。それを財源として太陽光発電を設置し、発電から得られる収益を参加者と地域に還元する。		
ステップアップさせるための工夫	<p>☆より早い段階で実施できるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>札幌・エネルギーecoまちづくり資金補助がH25以降も継続されるなら、そのPRとあわせて、地域住民、環境活動団体が主体となり、資金調達及び還元の手法などの仕組みを示した事業モデル案を作成。情報提供し参画者の波及を図る。(こがねっと、まちネット、NPO法人ひまわりの種の会連携事業)</li> </ul> <p>☆より大きな効果が得られるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関心の高い賛同者の資金調達により太陽光発電を設置。発電収益を参加者及び地域に還元する事業を展開する。環境活動団体からノウハウを学んだり、地域活性化に繋げるなど、より可能性を広げられる取組としての展開を図る。</li> </ul> <p>☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>提案事業No04-10「CO<sub>2</sub>削減の見える化等による町内会でのエコライフ推進」と連携し、町内会等の近隣住民の環境意識を高める。</li> <li>地域活性化のために参加型モデルを構築し、地域全体に元気と活気を提供していく。</li> </ul>		
コスト	課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>導入経費</li> <li>事業運営経費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入にかかる経費確保</li> <li>発電収益の分配方法</li> </ul>		

## 07.木質バイオ燃料の導入・利用拡大に向けた展開

## No07-01 【07.木質バイオ燃料の導入・利用拡大に向けた展開】

中期事業

事業名	<b>バイオマス資源流通のしくみ構築</b>		山本委員
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイオマス資源流通の仕組み構築によるバイオマス燃料の低価格化</li> <li>機器設置に対する支援策の導入による燃料消費の拡大</li> </ul>		
概要	市内から排出される剪定枝や風倒木、間伐材や未利用残材を、安価で利用しやすい形で流通させる仕組みを構築する。		
ステップアップさせるための工夫	<p>☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木質バイオ燃料の利用を促す仕組みについて、市民・事業者・林業事業者等が情報共有し、検討を行う『場』をつくり、様々な試行を進めていく。</li> </ul>		
コスト	課題		
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕組み構築にあたり、関係者との十分な調整</li> <li>安定した供給が可能かどうか、未利用残材の把握調査</li> <li>市内の薪屋との共存(経営を圧迫しない仕組みづくり)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>材の保管・配布場所等の確保</li> </ul>	

## No07-02 【07.木質バイオ燃料の導入・利用拡大に向けた展開】

中期事業

事業名	<b>清掃工場での木質系バイオマスの混焼</b>		伊藤委員
ねらい	木質バイオ燃料の活用による清掃工場での助燃油の削減・間伐材の利用促進		
概要	清掃工場でごみと木質系バイオマスを混焼する実証実験を行い、集荷・操業・コストなどの課題を把握する。		
	<p>ステップアップさせるための工夫</p> <p>☆より大きな効果が得られるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギー買取制度も利用して、入口(バイオマスの大規模な受け皿)と出口(売電)、需要(通年使用のエネルギー源)と供給(林地残材や間伐廃材の継続的な生産・出荷体制)といった関係者・産業間で多重の輪を作る。</li> </ul> <p>☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建設・運転に公的資金を投入する清掃工場を市民・道民に一層開かれた施設として公開し、環境教育などへの活用を図る。</li> </ul> <p>参考例:苫小牧市の沼ノ端クリーンセンター(ゴミ焼却炉～発電2,000kW)は、いつでも個人で自由に施設見学できる。</p>		
コスト	課題		
・木質系バイオマス代	・助燃油の使用量を減らすだけの木質系バイオマスを集めることができるか ・木質系バイオマスの購入経費確保		

## No07-03 【07.木質バイオ燃料の導入・利用拡大に向けた展開】

長期事業

事業名	<b>間伐材利用制度化</b>		伊藤委員
ねらい	木材利用の条例化や住宅等への導入助成制度の導入による木質バイオ燃料の利用拡大		
概要	公共施設を建築する際、間伐材の利用を義務付ける。		
	<p>ステップアップさせるための工夫</p> <p>☆より大きな効果が得られるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木材から建築材を取った残りの端材等を使う木質バイオマス燃料の利用拡大については、熱供給事業者と協力して施設の見学会等を実施し、PRを行う。</li> </ul>		
コスト	課題		
・間伐材等の経費	・消費先の確保 ・制度化する必要性の検討 ・需要と供給とのバランス		

No07-04 【07.木質バイオ燃料の導入・利用拡大に向けた展開】		長期事業
事業名	<b>間伐材利用補助</b>	伊藤委員
ねらい	木材利用の条例化や住宅等への導入助成制度の導入による木質バイオ燃料の利用拡大	
概要	一般住宅の建設の際、間伐材を利用した者に対し、かかる費用の一部について補助を行う。	
ステップアップさせるための工夫 ☆より早い段階で実施できるようにするための工夫 ・北海道では、「北海道地域材利用推進方針」を定め、業界団体とも連携して「地材地消」や住宅の金利優遇制度などをPRしており、また農水省は国産材を使った住宅建築にポイント制度の創設を検討している(2013年度予算の概算要求より)。このことを踏まえた、住宅建築への補助のあり方などを検討する。		
コスト ・補助金	課題 ・補助金確保 ・市場価格等の調査研究	

No07-05 【07.木質バイオ燃料の導入・利用拡大に向けた展開】		長期事業
事業名	<b>木質バイオマスを活用した機器導入支援</b>	山本委員
ねらい	・バイオマス資源流通の仕組み構築によるバイオマス燃料の低価格化 ・機器設置に対する支援策の導入による燃料消費の拡大	
概要	ペレットストーブ、薪ストーブ、チップボイラー等の導入・利用に係る費用の一部について、補助を行う。	
ステップアップさせるための工夫 ☆より早い段階で実施できるようにするための工夫 ・市などが実施する支援制度を活用し、木質バイオ燃料の導入・利用を促す。		
コスト ・補助金	課題 ・経済支援に係る経費確保 ・市場価格等の調査	

## 08.再生可能エネルギー等の利用拡大に向けた展開

### No08-01 【08.再生可能エネルギー等の利用拡大に向けた展開】

短期事業

事業名 **温度差発電の普及啓発**

千葉委員

ねらい 将来的な新技術の開発や技術発展を担う子どもたちの興味喚起と研究心の醸成

概要 温度差発電の普及を図るための啓発活動を行う。(温度差発電を活用して発明工作を行ったり、街に活かすためのアイデアを募るイベント等)

ステップアップさせるための工夫

- ・既存のイベントにて温度差発電を活用した発明工作を行う等のブースを設ける。
- ・温度差発電の普及啓発事業について、会社や団体等のホームページ等で紹介する。

コスト

- ・イベント等の開催に係る経費

課題

- ・対象者の確保
- ・普及啓発を行う人材育成及び確保
- ・イベント経費の確保

### No08-02 【08.再生可能エネルギー等の利用拡大に向けた展開】

短期事業

事業名 **再生可能エネルギーによるホワイトイルミネーションの実施**

佐藤委員

ねらい 大型イベントでの自家発電による実施を通じた、市民・観光客への再生可能エネルギーの普及とイベントのゼロカーボン化

概要 再生可能エネルギーや国内クレジット等を活用してホワイトイルミネーションを実施する。

ステップアップさせるための工夫

- ・イルミネーションを見に来た方も、発電に協力したことを実感できるような取組を実施する。  
(例)今年から会場で実施している廃食油の回収など
- ・会社や団体等の広報媒体に記事を掲載するなど、ホワイトイルミネーションで再生可能エネルギー等を活用していることの周知に協力する。

コスト

- ・イベント等の開催に係る経費

課題

- ・活動経費の確保
- ・楽しみながら理解してもらえるような展示の仕方、見せ方

## No08-03 【08.再生可能エネルギー等の利用拡大に向けた展開】

長期事業

事業名	<b>コージェネによる地域暖房調査</b>		伊藤委員
ねらい	効率的なエネルギー利用の実現を目指した地域暖房事業の調査・検討		
概要	札幌市、石狩市の数万世帯及び病院、ホテル、プールなど通年利用の大規模な施設を対象とした、発電事業と地域暖房を組み合わせた事業の実施に向けた調査、検討を行う。		
ステップアップさせるための工夫	☆より大きな効果が得られるようにするための工夫		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討の中に、清掃工場等の熱を利用した地域暖房(コージェネ(コージェネレーションシステム※)によるエネルギー効率向上・・・北欧地域等で実施中)の例も挙げて、家庭用ガス式コージェネを各戸に分散設置する場合等と、長短を比較することにより可能性を把握したい。</li> <li>・ CO<sub>2</sub>削減を進める上で、省エネルギー、再生可能エネルギー推進に伴う公的出費や家計負担増加の試算なども示して、施策の優先順位と実施の判断につなげる。</li> </ul>		
コスト	課題		
・ 調査に係る経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電力・熱供給事業者との協力</li> <li>・ 需要調査</li> <li>・ 調査経費の確保、検討に必要な項目の洗い出し</li> <li>・ 長期的な見通し</li> <li>・ 検討方法(専門家を含めた多面的な検討が必要)</li> </ul>		

## No08-04 【08.再生可能エネルギー等の利用拡大に向けた展開】

長期事業

事業名	<b>鉛直軸型風力発電機の発電実績調査</b>		太田委員
ねらい	鉛直軸型風力発電機の普及		
概要	鉛直軸型風力発電機の発電実績を調べるため、試験的に設置し、運転する。		
ステップアップさせるための工夫	☆より早い段階で実施できるようにするための工夫		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人住宅向けあるいは公共施設向けの小型風車を使って試験運転を行う。</li> </ul>		
コスト	課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 風力発電機の設置経費</li> <li>・ 調査に係る経費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査に関する検討(必要性、実施方法等)</li> <li>・ 調査協力者の確保</li> <li>・ 調査に係る費用の確保</li> </ul>		

※石油や天然ガスを燃焼させて発電するとともに、排熱を給油や冷暖房に利用することによってエネルギー利用効率の向上を図るシステム

## 09.ごみ減量・リサイクルの定着・拡大に向けた展開

### No09-01 【09.ごみ減量・リサイクルの定着・拡大に向けた展開】

短期事業

事業名 **ひとしぼり運動**

横江委員

ねらい ごみ減量やリサイクルに関する市民意識の向上

概要 生ごみの水切りを徹底することで、日常生活のなかで、ごみ問題を意識する。

ステップアップさせるための工夫

- ・札幌市が作成したパンフレット「ごみ分けガイド」などにある内容を周知する。
- ・何を呼びかけることがごみ問題を意識するのに効果的かを検討する。

コスト

—

課題

- ・効果的な意識づけの方法

### No09-02 【09.ごみ減量・リサイクルの定着・拡大に向けた展開】

長期事業

事業名 **ごみステーションデザインコンペ**

成田委員

ねらい ごみ問題に関する市民意識の向上と美しい街づくりの推進

概要 ごみステーションのデザインを公募する。

ステップアップさせるための工夫

☆より早い段階で実施できるようにするための工夫

- ・一般公募に先立って、市立平岸高校・市立大学等のデザイン関係の学生・若者対象の公開コンペ(コンペティション)を実施し、一般市民の関心を醸成する。

☆より大きな効果が得られるようにするための工夫

- ・学生対象コンペに続いて、一般対象コンペ(企業含む)を実施し、上記の学生コンペ案を含め市民投票・公開審査等で採用案を選定して、全市的なゴミステーションの美化と美しい維持管理を図る必要性の理解と普及を図る。

☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫

- ・諸外国・全国の優れた事例を収集、紹介して、一つのまちづくり活動として幅広い関心をもたらすように努める。

コスト

- ・コンペ開催に係る経費

課題

- ・コンペで選ばれたデザインを採用したごみステーションを作成する経費の確保

## 10.地域のみどりの育成に向けた展開

### No10-01 【10.地域のみどりの育成に向けた展開】

短期事業

事業名	<b>森づくり事業</b>	虎谷委員
ねらい	植樹・育林による森づくりの推進	
概要	植樹・育林し、自然林に近い森づくりを行う。 北海道CGCでは、国有林に植樹・育林し、自然林に近い森づくりを行っている。	
ステップアップさせるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>会社や団体等の広報媒体にて森づくり事業を紹介する。</li> </ul>	
コスト	課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>植樹・育林に係る経費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な意識づけの方法</li> </ul>	

### No10-02 【10.地域のみどりの育成に向けた展開】

中期事業

事業名	<b>みどりのサポーター制度</b>	宇野委員
ねらい	寄付による植樹事業を通じた緑化の促進と市民への意識啓発	
概要	寄付を募り、寄付金をもとに植樹を行う。寄付者の氏名を植樹箇所に掲げ、広報誌などで公表する。	
ステップアップさせるための工夫	<p>☆より早い段階で実施できるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市などが実施する既存事業への参加を呼びかける。</li> <li>既存の寄付活動で、複数の目的があるものは、その目的の一つに「植樹」を追加する。</li> </ul> <p>☆より大きな効果が得られるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植樹を行う前に、植樹(特に管理)の重要性について説明する研修等を一緒に実施することで、植樹の意味を十分理解してもらう。</li> </ul> <p>☆様々な方々に実施してもらえようように考えた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植樹(特に管理)の重要性について、分かりやすくまとめた資料等を作成し、多くの人に周知することで、植樹への参加を呼びかける。</li> </ul>	
コスト	課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>寄付金</li> <li>事務等にかかる経費(寄付で賅えない場合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄付金確保(市民、事業者からの理解を得て、協力者確保)</li> <li>植樹場所確保</li> <li>担い手(札幌市とNPO等民間組織)の連携</li> </ul>	

## 事業名 「間伐に寄与する紙」の利用促進

伊藤委員

ねらい 「間伐に寄与する紙」の購入を通じた間伐促進と森林の健全化

概要 企業や団体等に対し、間伐促進費が付加された印刷用紙の購入・利用を促す。  
この間伐促進費全額は、森林組合における間伐実施とそれによるチップを製紙工場が受け入れて間伐材の有効利用に充てる。

ステップアップさせるための工夫

☆より早い段階で実施できるようにするための工夫

- ・既存の「森の町内会」活動で販売している「間伐に寄与する紙」を、会社案内パンフレット、環境報告書、CSR報告書、カタログ、ポスター等として購入し、利用していただけるように説明会等を開催して呼びかける。

☆様々な方々に実施してもらえるように考えた工夫

- ・間伐促進費がどのような取組にいくら使われているのか、間伐に寄与する紙の量や間伐を実施した森林面積等を分かりやすく資料等にまとめ、周知する。

コスト

- ・周知や啓発活動にかかる経費

課題

- ・効果的な意識づけの方法